「CC ラボ」コミュニティ活動の方向性

駅前活性化＋コミュニティの活性化　　コミュニティ活動の場を提供し、行われる活動から、方向性や課題の解決方法を見いだす。

2014.3　　2015.4　　2015.6　　2016.3

ショート

1日～7日連続利用

○ 活動の発掘
○ 活性化
＊気軽に利用／連続利用で充実／ロングラボ移行準備

・多くのグループ・個人が利用
・リピーターの増加
・多様な活動
・主に学習、教室系
・企画の多くが参加者が少ない
・一部利用者同士がコラボ活動

●多くが体力弱
●活性化力不足
●情報発信不足
＊利用者のノウハウ不足／CC の認知度低い／情報発信の場の不足

一周年イベント（利用者同士のコラボ）

不連続4日利用をプラス

○ 新たな活動の発掘
○ 活性化
＊気軽に利用／定期的活動チャレンジ

○ コラボによる活動力強化
○ コラボによる発信力強化
＊ノウハウの共有／CC の認知度を高める／情報発信の場の確保

ロング

1ヶ月利用

○ 継続を目指す活動の発掘
○ 活性化
＊継続の試行的実施

・気軽に憩える場の提供利用
コミュニティカフェ＋イベント系
・場の提供と物販以外の活動ない
・自立に時間がかかる

2・3ヶ月利用をプラス

○ 本格的継続を目指す活動の発掘
○ 活性化
＊本格継続の試行的実施

CCC（コラボ会議）　継続は未定

ラウンドテーブル　3月間ごとに4回開催　～5回以降は適宜

潤滑油的役割

CC ラボ事務局

・利用申込受付・調整
・情報発信（UR ブログ、CC 掲示板等）
・CC 活動状況把握
・事務局 WS 開催

・ラウンドテーブル開催
・周辺への参加呼びかけ
・掲示場所の拡大（ケアプラザ、駅前）
・CC 周知活動（コラボイベント）

・コラボ活動の提案
・周辺への参加呼びかけ強化
・周辺との連携
・CC 周知活動強化（コラボイベント）

年間コラボイベント（梅の里祭り、桜祭り、環境絵日記展、洋光台ピクニック、夏祭り、ハロウィン等）

地域のコミュニティ活動／公共公益施設／学校／地域貢献型企業

他地区のコミュニティ活動／大学等の研究・講座／地域貢献型企業